

問1 京浜工業地帯に位置する神奈川県において、製造業が盛んで製造品出荷額等が非常に高い水準にあるにもかかわらず、全就業者数に占める第3次産業の割合が約78パーセントと突出して高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022

年 愛知公立入試 類似）

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 1. 人口が密集しており、都市化の進展に伴って商業やサービス業、企業の管理部門などの機能が高度に集積しているため | 2. 広大な平野を活用した大規模な稲作が行われ、そこから得られた収益がすべて観光業に再投資されたため | 3. 県内の大部分が山地で占められており、平地における工業生産を断念してIT産業への特化を進めたため | 4. 伝統的な手工業が衰退した代わりに、海外からの輸入商品を専門に扱う物流拠点が県内の全産業を追い越したため |
|--|--|--|--|

問2 ある都市の特定の地域において、1990年代後半には約300人であった人口が、2010年代後半には6,000人を超えるほどに激増した事例があります。この地域では、以前は工場や駐車場として使われていた場所の多くが、現在は21階以上の高層マンションに変わっています。このような変化をもたらした主な要因として最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

- |                                   |                                  |                                  |                                   |
|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 鉄道利用などの利便性を背景とした、再開発による居住機能の強化 | 2. 地価の下落による、広大な敷地を持つ低層工場の都心部への移転 | 3. ドーナツ化現象による、職住分離を目的とした郊外住宅地の拡大 | 4. 食料自給率の向上を目的とした、都市農業のための生産緑地の指定 |
|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|

問3 日本の諸地域について述べた次の文の空欄に当てはまる都市名を選びなさい。「北関東に位置する栃木県は、住宅用太陽光発電機器の設置割合が全国でも高い水準にある。この県の県庁所在地である（ ）は、内陸型工業地域の中心的な都市の一つでもある。」（2023年 秋田県公立入試 類似）

- |         |        |        |          |
|---------|--------|--------|----------|
| 1. 宇都宮市 | 2. 前橋市 | 3. 水戸市 | 4. さいたま市 |
|---------|--------|--------|----------|

問4 北関東3県（茨城県、栃木県、群馬県）の県庁所在地について述べた文として、茨城県の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 岐阜公立入試 類似）

- |                                |                                 |                                |                                |
|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 関東地方の北東部に位置する水戸市に県庁が置かれている。 | 2. 関東地方の内陸部に位置する宇都宮市に県庁が置かれている。 | 3. 関東地方の北西部に位置する前橋市に県庁が置かれている。 | 4. 関東地方の中南部に位置する千葉市に県庁が置かれている。 |
|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|

問5 関東地方では、神奈川県、埼玉県、千葉県といった周辺の県から東京都心部へ移動する「通勤・通学人口」が非常に多いという特徴があります。このように、都心に勤務・通学する人々の住宅地としての役割を担っている都市や地域を指す言葉として、最も適切なものはどれですか。（2021年 香川公立入試 類似）

- |           |         |         |           |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 1. ベッドタウン | 2. 工業地域 | 3. 限界集落 | 4. 政令指定都市 |
|-----------|---------|---------|-----------|

問6 関東地方などの大消費地の周辺で行われている、生乳を短い時間で輸送する利点を活かした酪農の形態を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

- |               |              |                |                  |
|---------------|--------------|----------------|------------------|
| 1. 適地適作としての酪農 | 2. 山地を利用した移牧 | 3. 大消費地向けの近郊農業 | 4. 輸出を目的とした商業的農業 |
|---------------|--------------|----------------|------------------|

問7 茨城県は野菜の産出額が全国でもトップクラスですが、その背景として、東京などの大都市に近い立地を活かし、新鮮さが求められる農産物を生産して速やかに出荷する農業が行われています。このような農業形態を何といいますか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 促成栽培 | 3. 抑制栽培 | 4. 適地適作 |
|---------|---------|---------|---------|

問8 日本の農業統計において、茨城県は野菜の産出額が非常に高い水準にあります。この背景にある、茨城県の農業経営上の利点として最も適切な説明はどれですか。（2018年 高山県公立入試 類似）

- |   |  |                                       |   |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1. 大都市に近い利点を生かし、輸送時間を短縮して鮮度を保ったまま出荷できる点 | 2. 冬でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を大幅に早められる点 | 3. 高冷地の涼しい気候を利用して、夏に高原野菜を栽培し高値で取引できる点 | 4. 広大な平野を利用して、輸出を目的とした穀物の大規模な機械化栽培ができる点 |
|---|--|---------------------------------------|---|

問9 関東地方の北部に位置する群馬県のように、日本の都道府県の中には「県名」と「県庁所在地の名称」が異なるものが存在します。群馬県の県庁所在地である都市名として正しいものを選びなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

- |        |        |         |        |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 前橋市 | 2. 高崎市 | 3. 宇都宮市 | 4. 水戸市 |
|--------|--------|---------|--------|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 人口が密集しており、都市化の進展に伴って商業やサービス業、企業の管理部門などの機能が高度に集積しているため	神奈川県は日本有数の人口密度を誇り、横浜市などの大都市を中心に経済活動が極めて活発です。京浜工業地帯を擁する工業県としての側面を持ちつつも、消費地に近い利点を生かした卸売・小売業や、都市型サービス業、さらには企業のオフィス機能が集まることで、第3次産業の比率が極めて高い産業構造となっています。これは、高度経済成長期以降の産業構造の転換と都市化が顕著に表れた姿といえます。
問2	<b>答え 1</b> 鉄道利用などの利便性を背景とした、再開発による居住機能の強化	1990年代から2010年代にかけての都市部の変化は、工場などの生産拠点が郊外や海外へ移転し、その跡地に高層マンションが建設されるという流れが顕著です。特に複数の鉄道路線が利用できるような場所では、職住近接を求める世帯の需要が高く、再開発によって居住人口が劇的に増加しました。これを土地利用の観点では、工業的な利用から、より高度な居住利用への転換と捉えることができます。
問3	<b>答え 1</b> 宇都宮市	栃木県は全国的に見ても太陽光発電の導入が盛んな県の一つです。県庁所在地の宇都宮市は、東北新幹線や関越自動車道（東北自動車道）などの交通の要衝でもあり、周辺には工業団地も多く形成されています。群馬県の前橋市や茨城県の水戸市といった、同じ北関東の県庁所在地と正確に区別できるかどうかのポイントです。
問4	<b>答え 1</b> 関東地方の北東部に位置する水戸市に県庁が置かれている。	茨城県は関東地方の北東部に位置しており、その県庁所在地は水戸市です。北関東と呼ばれる地域のうち、栃木県の県庁所在地は宇都宮市、群馬県の県庁所在地は前橋市であり、これらはいずれも内陸に位置しています。これに対し、茨城県は太平洋に面した東側の地域を含みます。
問5	<b>答え 1</b> ベッドタウン	東京都心部での地価の高騰や、鉄道網を中心とした交通機関の発達により、居住機能を周辺の県が分担するようになりました。特に東京に隣接する神奈川・埼玉・千葉の3県は、都心へ1時間程度でアクセスできる場所に大規模な住宅団地が形成されており、昼間は都心へ働きに出る人々が住む街として機能しています。
問6	<b>答え 3</b> 大消費地向けの近郊農業	都市の周辺で、その都市の需要に応えるために行われる農業を近郊農業と呼びます。野菜などの生鮮食品と同様に、鮮度が求められる生乳を生産する酪農も、輸送コストや時間を抑えられる都市近郊の利点を活かして展開されています。これは土地の広さよりも、市場との距離の近さを重視した経営形態です。
問7	<b>答え 1</b> 近郊農業	大都市の周辺で、交通網の発達を利用して野菜や花きなどを生産し、鮮度が高い状態で消費地へ届ける農業を近郊農業と呼びます。茨城県は、常磐自動車道などの高速道路網を活用することで、収穫から短時間で市場へ輸送できる地理的優位性を持っており、これが野菜や畜産の高い産出額を支える要因となっています。
問8	<b>答え 1</b> 大都市に近い利点を生かし、輸送時間を短縮して鮮度を保ったまま出荷できる点	茨城県の農業の強みは、東京などの大消費地へ短時間で農産物を届けられる「近接性」にあります。野菜は鮮度が品質を左右するため、輸送コストと時間を抑えられる立地は大きな収益性につながります。他の選択肢にある「収穫時期を早める」のは高知県や宮崎県の促成栽培、「夏に高原野菜を栽培する」のは長野県や群馬県の抑制栽培の説明であり、茨城県の主要な特徴とは異なります。
問9	<b>答え 1</b> 前橋市	群馬県の県庁所在地は前橋市です。同じ関東地方の北部にある栃木県（宇都宮市）や茨城県（水戸市）も、県名と県庁所在地の名前が異なる県として知られています。高崎市は群馬県内において前橋市と並ぶ主要な都市で、交通の要所ですが、県庁所在地ではありません。